


# 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成30年5月15日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第4号	質問議員	5番	原 憲 司 
件 名	町民の定住促進を図るため道路や駐車場の整備を図っては			
要 旨				
<p>当町の人口は、平成30年4月1日現在10,484人で、内男性は5,140人、女性は5,344人であり、平成30年3月1日現在の人口より男性が29人、女性が22人の計51人の減となっていますが、平成29年4月と平成30年4月を比較すると人口が279人の減少となっています。</p> <p>議会では、4月に三保地区、清水地区、山北地区、共和地区、岸地区、向原地区の6会場で議会報告会を開催し、町民の方々から多くのご意見をいただきました。</p> <p>その中で、若い人たちの働き場所がなく、年々町外へ転出し、若い人たちが減少していますので、町内に住み、町内外に勤務できるような生活環境を整備し、町内人口の流出を留め、にぎわいのある町づくりを推し進めるための取り組みについて、質問します。</p> <p>1. 主要地方道山北藤野線の中川地区から箒沢地区までの間を自動車の待避所として4か所ほどの拡幅を行い、自動車通行の利便性を図り、通勤に支障がないようにしてほしいと以前に箒沢地区から町に要望しているとのことですが、町は県とどのような協議をし、地元の箒沢地区にどのような内容報告をしましたか。</p>				

2. 山北町民の若い人たちは、町内以外の都市へ通勤する勤務者が多くいるため、現状は御殿場線での通勤か、家族の送迎などで通勤していますとのことですが、御殿場線は豪雨や強風などにより、電車が止まったり、遅れたりすることがあるので、通勤の利便性を確保するため、小田急線の新松田駅か開成駅周辺に山北町営の駐車場を設置し、通勤者の利便性を確保し、町内に定住する若者を多く増やしてはどうか。

以 上